

指定管理者最終総合評価

江戸川区立中央図書館、鹿骨コミュニティ図書館

評価項目		評価理由		
1	施設運営に関する事務	区立図書館を統括する中央図書館として、選書をはじめ各部門の調整会議や担当者会を取りまとめるとともに、各館の苦情対応も扱うなど、区立図書館の中核としてしっかり機能し、その役割を十分に果たしている。区や各館と密に連携し、質の高い図書館サービスの提供に寄与している。		
2	利用者サービスに関する事務	全館共通の行事案内を毎月作成し、図書館の利用促進を図っている。オリパラ機運醸成、SDGs および角野栄子児童文学館の認知度向上に取り組んだ。利用者アンケートも高い評価を得ている。		
3	施設の維持管理に関する事務	日常点検や計画的な補修により、快適な読書環境を提供している。中央の空調改修工事による休館期間を活用し、図書資料のICタグ化や座席の配置換えを行っている。		
4	経理管理等に関する事務	指定管理料、委託料ともに適正に執行されている。中央休館中のICタグ貼付作業を職員が実施することにより経費を抑えるなど、常に効率性を考慮し運営されている。区への報告等も適切に行われている。		
5	図書館サービス業務	図書館サービスの基本であるレファレンスや蔵書構築など、司書の配置や専門研修の実施により、職員の専門性を維持している。蔵書構築については各館の特色を生かしながら、全館の調整も図っている。事業については、魅力的なイベントや企画展示のほか、全館共同での事業を取りまとめ実施した。調べる学習コンクールへの参加も大きな成果である。中央・鹿骨の休館中も臨時窓口を開設し、滞りなくサービスを提供している。		
6	当初提案の計画に対する目標の達成	概ね目標を達成している。		
評価点		配点	得点	得点率
		165	138	83.6%
総合評価	【講評】			
B	区立図書館全体の調整機能を併せ持つ中央図書館として、各種会議や各館への指導・助言など、その役割を十分に果たすとともに、区民の知の欲求に対応した蔵書構築や事業展開を行い、区立図書館全体での質の高い図書館サービスの提供に寄与している。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら新しい事業に挑戦し、多くの区民に利用されるよう、前向きに取り組んだ。			

総合評価の基準（得点率）

A：90%以上、B：70%以上90%未満、C：50%以上70%未満、D：40%以上50%未満、E：40%未満